

# VeeamとPure Storageの組み合わせで 仮想化基盤のデータ保護を高速かつ確実に実現

1秒あたり1.7GBの高速リカバリでRTOの大幅改善が可能に

バックアップをテープで保管しているが、データ量の増加によりバックアップ作業が時間内に終了しない、問題が発生したときに、実際にリカバリできるかどうか分からない——。膨大なデータを抱える大企業や中堅企業となってくるとこうした課題を抱えるケースは少なくない。そこで、高速かつ確実にバックアップ／リカバリができる統合プラットフォームが必要になる。

## 日々の業務の問題から BCP 対策まで バックアップ／リカバリが重要に

「設計部門が CAD で作成した設計図面ファイルが破損した」「営業部門で保管していた契約書の PDF ファイルを誤って削除した」といった日常業務の問題から、ハードウェアの故障やソフトウェアのバグによるシステムの停止はもちろん、災害発生時のディザスタリカバリ対策、BCP 対策などのビジネスの継続性に関わる問題まで、システムの停止を防ぐためには、日々のバックアップ／リカバリが不可欠になる。

そこで、多くの企業、特に大企業や中堅企業になると、かなりの金額の投資をしてバックアップ／リカバリ用のシステムを構築し、24 時間 365 日止まらないシステムの実現を目指している。それにもかかわらず、本番環境に負荷がかかるために効率的なバックアップができなかったり、または復旧したいときに、対象のファイルだけを戻すことができない、さらにはそもそもバックアップが確実にできているのかわからないなどの悩みを抱えているシステム担当者が多い。

そこで、東京エレクトロンデバイスでは、仮想化基盤に最適化されたバックアップ／リカバリ用ソフトウェア製品である「Veeam Availability Platform（以下、Veeam）」と、オールフラッシュストレージ製品である「Pure Storage FlashArray」を組み合わせた仮想化基盤専用のバックアップ／リカバリ統合プラットフォームを提供することで、企業が抱えるバックアップ／リカバリの悩みを解決する。

## 「Veeam×Pure Storage」で ファイルや仮想マシン単位のリカバリ

Veeam と Pure Storage の組み合わせの最大の特長は、オールフラッシュストレージを活用することで、仮想化基盤のバックアップ／リカバリに大幅な柔軟性とスピードアップをもたらす点にある。現在、数多くのバックアップ製品が市場に出回っているが、仮想化基盤への利用を前提に作られた製品は、物理環境向けに設計されたバックアップ／リカバリソフトウェアに比べ、システムの構成や設定、運用を非常にシンプルにできる利点がある。

上述の組み合わせでは、Veeam はバックアップ時に、Pure Storage で作成されたストレージスナップショットと連携して動作し、そのスナップショットを用いて復旧できるようになる。ストレージスナップショットでなく、仮想環境上のハイパーバイザーによるスナップショットを利用する場合、往々にしてサーバーの CPU リソースを著しく消費しがちであり、最悪は仮想マシンの停止を招く危険性もある。Pure Storage のスナップショット機能を利用することで、仮想マシンが稼働するサーバー環境に負荷をかけることなくスナップショットを頻繁に作成できるようになる。これによって RPO（Recovery Point Objective）を大幅に改善することができる。

もちろん、Pure Storage 単体でのストレージスナップショットはあくまでボリューム単位で行われるため、仮想マシン単位やファイル単位などで数時間前のデータを戻したいという細かなニーズには対応できない。そこで Veeam

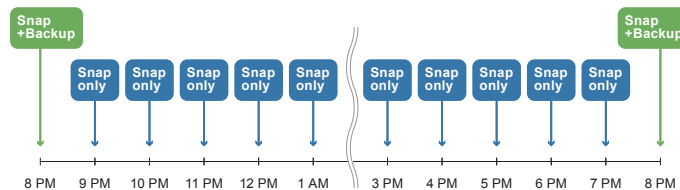
を組み合わせることで、Pure Storage で作成されたストレージスナップショットを利用し、ファイルや仮想マシン単位のリカバリができるようになる。

一般的な1日1回のバックアップ/リカバリでは、バックアップからリカバリすると1日前の状態に戻ってしまう。Veeam と Pure Storage の組み合わせであれば、直近で取得したスナップショットから、必要なファイルだけを復旧できる。

## 高密度フラッシュブレードを用いた超高速なリカバリも可能に

そのほか、Veeam と Pure Storage を組み合わせるメリットは、バックアップ/リカバリの高速化である。仮想マシンのデータストアとしての FlashArray とは別に、バックアップファイルの格納先として、超高速の NAS 製品「FlashBlade」を用いることで、仮想化基盤の高速なバックアップはもちろん、必要なデータを迅速に復旧することができ、RTO (Recovery Time Objective) を大幅に短縮する。同製品を用いて50の仮想マシンをリカバリする検証では、1秒あたり1.7GBという転送スピードを実現している。停止が許されない今日のIT環境において、プライマリストレージに問題が発生した際にもSLAを担保するた

- バックアップ処理は多くの場合、1日1~4回程度
- 1時間に1回もしくはより頻繁にストレージスナップショットを取ることで、より良いRPOを取得することが可能



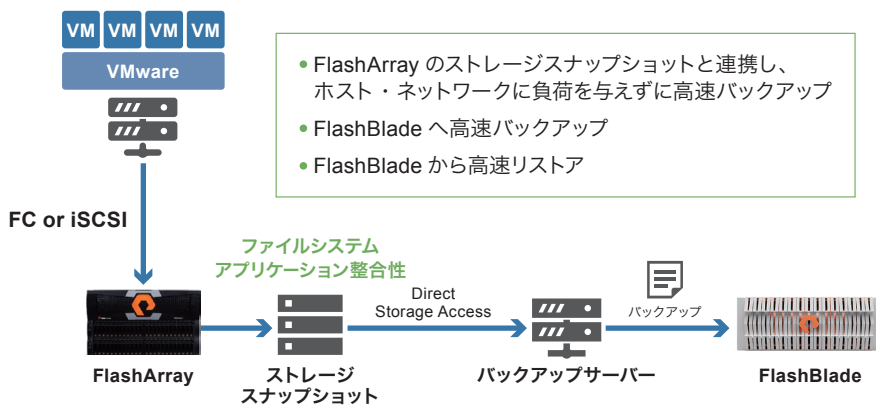
めの仕組みとして、確実に有効な手段となる。

またVeeamでは、作成したバックアップデータを高密度のテープに転送することで、長期保管にも対応する仕組みを備える。また近年では、バックアップデータをパブリッククラウド上に保管したいという大企業・中堅企業のニーズも増えてきた。Veeamは、クラウド環境へのバックアップ/リカバリもサポートしているので、将来的にも安心して導入することができる。

東京エレクトロンデバイスは、ピュア・ストレージの日本法人ができる以前から、国内でPure Storage製品を取り扱っており、多くの経験とノウハウを長年培ってきた強みがある。またインストールベースでも、国内で最も実績を残している。さらにVeeamに関して、2018年6月にVeeam製品の1次代理店契約を締結している。

そのほか、東京エレクトロンデバイスではPure Storage

製品とVeeam製品の検証環境をもち、また、サポート体制も用意することで、VeeamとPure Storageを組み合わせた最適な提案ができる環境が整っている。バックアップ/リカバリの問題を抱えている企業のシステム担当者は、ぜひVeeamとPure Storageの組み合わせを検討してみしてほしい。



- FlashArrayのストレージスナップショットと連携し、ホスト・ネットワークに負荷を与えずに高速バックアップ
- FlashBladeへ高速バックアップ
- FlashBladeから高速リストア

ファイル・アプリケーションの整合性が取れたバックアップを低負荷・高速に保存・復元

## 東京エレクトロン デバイス株式会社

〒163-1034 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー S34階

お問い合わせ TEL. 03-5908-1990

[https://cn.teldevice.co.jp/maker/pure\\_storage/](https://cn.teldevice.co.jp/maker/pure_storage/)

すべての製品名、サービス名、会社名、ロゴは、各社の商標、または登録商標です。製品の仕様・性能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。